

鹿大広報

No.150

April/1999

編集・発行
鹿児島大学
広報委員会



特集：入学-夢と喜び-

徳は事業の基なり

歯学部長 笠 原 泰 夫



笠 原 泰 夫

新入生の皆様、鹿児島大学歯学部へようこそ！ 新鮮で柔軟な頭脳を持つ諸君を迎えることは歯学部の若返りと活性化に繋がる事であろうと、教職員はもちろん卒業した諸先輩や現役の在校生諸氏も心から歓迎していることと思います。

私共歯学部は、昨年創立20周年を祝ったばかりで50年に及ぶ古い伝統をもつ鹿児島大学においては新参者の学部であります。この末っ子もいつの間にか附属病院や大学院歯学研究科を備えて、卒業生も1,000人を越え博士の学位授与数も100件に迫る程たくましく成長し、人間で言えば成人式を終えやっと一人前と認められる段階に到達したと云えるでしょう。

昨今の国立大学は日本経済のBubble崩壊に端を発する大混乱から、ある種の危機的局面にあると云って良いでしょう。この状況から一日も早く脱け出るためには、鹿児島大学に在籍する教職員ならびに学生諸氏の一致団結しての協力や、お互いの切磋琢磨と血の滲む様な努力が必要なことは申すまでもないことだと思いますが、これに加えて新入生諸君の私共に対する手助けも大きな力と勇気を与えてくれるものと確信しております。

では諸君の出来る私共にとって有難い手助けとは何でしょうか？ それはやる気さえあれば一番元手のかからない簡単なことではありますが本当は若干の苦痛を伴う、諸君の頭脳を使用し必死に勉強して呉れることなのです。鹿児島大学歯学部の卒業生は医療人としても優秀で人間的にも立派であると言う評価が世間から得られれば、教える側としてもこれ程嬉しいことはありませんし、製造物に対するある種の責任を十分に果たし注ぎ込まれた国民の税金を十二分に還元していることになるからです。

云うまでもないことですが、鹿児島大学は総合大学ですから諸君の知的欲求を満たすためのすべてが揃っていると考えて下さ

い。勉強することは、それが初めての領域の学問であればある程取っ付きにくく面白い筈はありませんし、特にその学問の入門部分が楽しかろう筈のないことは断言できます。しかしながら諸君の将来に直接関係があると諸君が考えようと考えまいと、またそれが卒業要件であろうとなかろうと、更には修得単位として認められようと認められなかろうと、数多くの授業に手あたり次第熱心かつ貪欲に取組みそれらを吸収し身につけることが出来たならば、それは間違いなく諸君の強固なFundamentalsを形成することとなり、このBack Boneを確立させることによって諸君の能力の可能性は大きく広がり、この結果立派な人間としても世間から尊敬される素晴らしい歯科医療人としての人生が待っていることを忘れないで下さい。

本来、大学とは多種多様の学問を勉強させることによって知的水準の高い教養人を送り出し、人間社会の高度化に資すると云う側面をも有していることもその重要な役割のひとつであるからです。

諸君の有している知識量が増えれば増える程、知的で豊かで楽しい精神生活を過すことが出来る人生が待っていることを忘れず、本当の意味でのCampus LifeをEnjoyして下さい希望しております。

どうか心酔できるいろいろな先生と出会い、良い学友を見付け、ふり返って見て価値ある6年間であったと納得できる様な毎日を過ごして下さい。



歯 学 部 並 び に 同 附 属 病 院